



地区目標 ロータリーに夢をもって行動しましょう!!

クラブテーマ 想像から行動へ～優しさ溢れる出会い (DEI) のクラブ～

- ◆点鐘：市村 清勝 会長
- ◆ロータリーソング：蔵王を仰ぐ
- ◆司会：遠藤 直樹 S.A.A.
- ◆会場：山形グランドホテル



第2974回例会

令和5年4月3日(月)

会長あいさつ

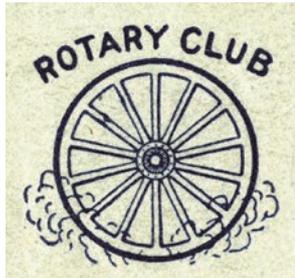
市村 清勝 会長



今日はロータリーのバッジについて話を少しさせていただきたいと思っています。私も会長になってからは例会の時はマストで着けています。例会じゃない時も着けるようにしていますが、今も会社のバッジ、SDGsのバッジ、ロータリーのバッジの3つを着けています。これは気持ちを1つにする

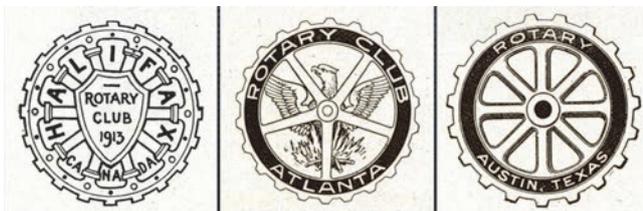
と、皆さんの気持ちを1つにするというすごくいい意味があるのではないかなと思って会社のバッジも着けているのですが、そういう意味では大切なアイテムだとして理解をいただきたいと思っています。

それでこのバッジですが、歴史を調べました。1905年、シカゴのロータリークラブの会員だった彫刻家のモンタギュー・ベアさんが13本のスポーク、これは歯車ではなく馬車の車輪なんです。馬車の車輪をデザインして作りま



した。このデザインを見た人は「このデザインでは躍動感がなくてダメだ、生き生きとした感じが感じられない」ということで、あとで下のデザインを付けたそうです。これは雲だそうです。雲を付けたのですが、なんだか埃のように見えてこれはダメなんじゃないかということで、「ロータリークラブ」というロゴを入れたそうです。その埃が、例えば馬車が走った時に両方に埃が立つのはあり得ないだろうと、片一方にしか出ないんじゃないかという指摘を受けながら、大変批判的な最初のデザインだったそうです。

それが1911年、当時の事務総長が全米の連合会は歯車を基調にしたデザインにしようということを設定したそうです。それで1912年から18年まで、歯車を基調にしたいろんなデザインのロータリーのマークが出てきました。ただ、各クラブによって違うので、あまりにもたくさん出続けるので、1919年、ロータリーの徽章規格化担当委員会



を作りまして、頑健な印象のもと、6本のスポークと14枚の歯車の徽章の下書きを作りました。デザインはオスカー・ビョルグさんという方のデザインだそうです。この方もロータリーの会員のようです。それで今のような形のロータリーのマークになりました。

それで、「この歯車だと、楔がないので回らない」という指摘を受けたそうです。100年前にこれだけのデザインができるのはすごいなと私は思うのですが、1924年にこの形が定まったわけですが、それでは回らないというので、歯車の芯のところに楔がないとすべて回らないということを指摘した人がいるようです。それで今の形になりました。楔を打てばしっかりと歯車とその軸のところと一緒に回転するというので、2013年、ここを引っ込めてオレンジ色のデザインにしたそうです。

それで、今は「Rotary」というロゴを大きく前に出してこのロータリーのマークを作っています。今までの歴史あるロータリーのバッジですので、皆さん、着けるようにしていただきたいというお話でした。

幹事報告

安部 弘行 幹事

- 新入会員の向田竜也さんにお越しいただいております。
- 例会終了後、基金管理委員会、その後に理事会を開催します。関係者の方はご参加いただきますようよろしくお願いします。

新入会員の挨拶



向田 竜也 さん

ただいま紹介にあずかりました向田竜也と申します。お誘いいただき、まだ若輩者ではありますが、この伝統と格式ある西ロータリーに入会させていただく運びになりました。まだまだ分からないことだらけで、一般常識もまだ足りない部分もあるかと思いますが、そういった部分も含めて皆さまからご教示いただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

委員会報告

親睦・家族委員会

会員9名、奥様10名、4月に誕生日を迎えられます。
おめでとうございます。

広報雑誌委員会

今月の『ロータリーの友』の見どころをご紹介しますと思います。横書きの8ページより、レポートとして「ウクライナレポート」、これは戦時下の日常として非常に内容の濃いレポートが載っておりますので、ぜひご一読いただければと思います。引き続き、横書きの16ページにはこのウクライナ、そしてパキスタンへの支援を目的とする基金創設、そして寄付の募集もごございますので、ぜひこちらもご検討いただければと思います。

ニコニコ BOX

〈4月3日〉

市村清勝会長／孫のバスケットにニコニコ、ウルウル

昨日、ミニバスケットを始めたばかりの孫2人とパスとドリブルの練習をしました。あつという間にサマになっていく孫の姿に、ジイジはニコニコ、ウルウルです。

高橋勝治さん／長女の子供（孫）、高校合格

私の初めての孫が希望する高校に合格しました。3月29日生まれで、他の人に比べ体力も学力も遅れており、5年生より塾通いし、私が週2回送り、5年間その甲斐があり合格したので双手を挙げ喜んでニコニコします。

遠藤正明さん／向田さんをお迎えして

ようこそ山形西クラブへ。大いに楽しんでください。末永くよろしくお願い致します。



ゲスト卓話



阿部派一刀流

阿部 吉宏 さん

[抜刀道 阿部派一刀流]

抜刀道というのはなかなか耳慣れない言葉だと思います。僕は抜刀道という武道の先生をしているのですが、抜刀道には、居合があります。居合というのは型、何百年も続いてきたお侍さんの刀を使った攻撃の技の型、これを一生懸命とにかく練習して、そして精神と心を鍛えて武士道の体現を目指すというのが居合道です。そして抜刀道というのが、日本刀の真剣で豊を切ります。そして日常で味わえない緊張感を持って心と体を鍛えて、武士道の体現を目指すというのが抜刀道になります。武士道の体現というゴールは一緒です。ただアプローチが違っていたいただければと思います。そういう抜刀道という道場を天童市で運営させていただいております。

今は山形県村山市に居合道の一部に試し斬りというのがありますが、その試し斬りをより広げたのが抜刀道とさせていただければと思います。山形県の村山市は居合道の発祥の地なんです。林崎甚助重信様というお侍さんが室町時代にスタートしたのが居合道になっています。その居合道のインバウンド、侍体験というのを執り行わせていただいております。スポーツ庁でも武道ツーリズムというコンテンツがあります。それだけ今大変関心が高まっております。それで、「居合の精神」を教える、本物の武士道というものを教えるというので山形県村山市が聖地として宣伝されて、スポーツ庁から認めていただき、武道ツーリズムというのを最先端でさせていただいております。

とは言え、なかなかうがった形で今日本に浸透しております。戦争が終わった時から日本刀はどんどん日本人から回収されています。特攻隊の兵隊さんや、海軍の兵隊さん、陸上の兵隊さんだけではなく、そういった方も、コックピットに持って入っていたそうです。実際戦うのは戦闘機ですが、この日本刀という物は日本人の魂、いわゆる大和魂とか武士道精神が詰まっているということを当時のアメリカ政府は見抜きました。なのでこれを没収したそうです。刀を作る時、砂鉄から集めて煮て、それを10万回くらい叩きます。伸ばしては熱してを繰り返して、10万回くらい叩いて、そして刀の形にします。それで終わりではなく最後に石に擦り付けて完成します。この日本刀に日本人は自分を投影しました。ということかと言

うと、完成するまで何一つ良いことはありません。熱せられて叩かれて水に浸けられて、そして終わりかと思ったら最後石に擦り付けられます。そして出来上がったものは鉄も切るといふ日本刀として生まれ変わります。

現在、一番古い日本刀は1,300年前のものが残っております。天皇陛下の御物、お宝として皇居に保管されているそうです。私の今あるこの刀、これは令和に入ってからですが、これも1,000年後の世には間違いなく残ります。こういったもので日本人は一生懸命ですから、不運があるのは自分を鍛えているんだと思って、それをいづれ名前を残すためと乗り越えていきます。体は残らなくても名前は残す、こういった精神が大和魂として残っているので、コックピットに日本刀を持って行ったり、海軍、大砲で戦うのに腰に刀を差したり、伝家の宝刀という言葉もあります。このように刀に対して日本人は思いを込めました。そういったものを村山市、私の道場でも教えていますが、村山市では半分近く日本人です。ということは、半分以上は外国の方になっています。そういった方にインバウンドを通して日本人を知ってもらいたいです。これは私の個人的な意見ですが、インバウンド事業はもう何年かで終わると思います。なぜかという、僕は海外にずっといて、武者修行にタイやインドネシアに行きました。あそこはまだ普通に刀で戦います。そういうところで武者修行して思っていたのが、外国に行くと、荷物を持っている観光客にチップをもらいに来るわけです。それが日本でも起こりうると僕は考えています。日本人は気高い民族だと思っている外国の方がそういった人を見ると、多分「あ、どこかの国と一緒にだな」と思って、インバウンドが終わると思います。そうならないようにするため、武士道教育というのが大変必要になってきます。荷物を持って悪いという意味じゃありません。お金を持っていそうな人だから、行って手伝うからお金ちょうだいとは言わないという心です。「武士は食わねど高楊枝」という言葉があります。そういったものを教育していくというのが非常に大切なことだと思っています。そうしないと、神社とか仏閣とか料理とか建物だけを見に来るわけではなく、その国の人を見に来ます。そのようなことを考えると、このままではインバウンドというのは飽きられると思っております。日本人というのはもっと作っていかなくてはならないと思っておる次第です。

先ほど君が代を斉唱いたしました。それで「苔のむすまで」という歌詞があります。昔の人は岩とかに苔が生えることを大変不思議に思いました。土がないのに岩や石になんで苔が生えるんだと思いました。それには神様のスーパーパワーが働いていると思ったそうで

す。その言葉を「むす」という言葉で表しました。ですから、神様の力が宿って生まれてくる男の子を「むすこ」、女の子を「むすめ」と言うそうです。ですので、お父さん、お母さんの子どもであると同時に神様の子どもであるということ認識させるというのが日本の教育でした。

ところが、戦争が終わってそういう教育がなされなくなりました。侵略されるというのはそういうことになります。今、皆さまのひいおじいさんぐらいまでは日本刀というのは身近だったと思います。今も刀鍛冶は現役でいますが、刀だけで食べていける刀鍛冶はだいたい29名から31名の間をずっと推移します。免許を持っている方は大体180人くらいいるそうです。でもその方は普段別の仕事をして刀を打っています。それだけ日本刀というのは縁遠くなってしまいました。

侍体験というのを通してちょっと誤解されるのが、「武士道とは死ぬことと見つけたり」というのは、『葉隠』に書いてありますが、正確に言うとそれは外道と言います。武士道ではありません。本物の武士道というのは生き抜くことを考えます。こういった公の場において、一個人として立ち続けられることを普段から教養として身に着ける。これが本物の武士道といえます。刀を持っていなくても武士であり続けるというのが武士道です。そういったことを丁寧に教えています。

やはりどうしてもインバウンドに限らず、日本刀というものを知ってもらう、あるいは抜刀道、日本人というものを知ってもらうということで、山形県の村山市、あそこには居合神社という日本でたった1社しかない居合の神様を祀っている神社があります。そしてもう1つ、宮城県の秋保温泉にある秋保神社、こちらの2社で悪運斬り抜刀というのを私は神主様と一緒にさせていただいております。要は祝詞を唱えて、厄を付けて、それを一刀のもとにたたき伏せるということをやっております。インパクトが大変強いので、神社とか仏閣により足を運びやすくなる、日本刀が身近になるということで、そういったパフォーマンスもさせていただいております。本日は特にこの御神刀、これは2尺7寸、82センチあります。これを普通に振る剣士は日本ではそんなにいないのですが、これに両肩と心臓の裏、背中に、この3点をトントンとやると、これに厄が乗り移ります。それを畳で切るということをしていただきます。毎回こういうところでやるのですが、さまざまな悪い運とか悪い縁を切れます。お悩みの方やちょっと気分がはっきりしないという方がいらっしゃいましたらトントンとさせていただいてからやりたいと思います。

こういう時にアメリカ人はドーっと来るのでおもし

るいです。物を教えやすいのはアメリカ人とドイツ人です。アメリカ人はすぐ質問します。ドイツ人は黙って聞きます。「触るな」と言って触ったり、「ほんとに切れる」と喜ぶのはイタリア人です。フランス人は哲学に興味があります。そして中国の方は、切っちゃいけないという切り方や、急に振り回したりします。これは国民性が出ます。やり方は、トントンとやるだけです。これだけで終わります。信じる信じないは自由ですが、効果は出ます。これは本当に都合100回以上御祈禱を受けています。月に3回御祈禱を受ける刀なので、100回以上受けていますから、私の力ではなく天照の力が宿っている刀になっています。こういったことをやって、悪運斬り抜刀というのもやって、地域の方を呼んで、村祭りみたいなところからもう一度地域の絆を取り戻そうというのも主眼で秋保と村山の方でやっております。

なぜこういうことをするのかと言うと、やはり日本人には日本刀が必要だと思っているからです。私は、正確に言うと純粋な日本人じゃないです。母方がアイヌ人なので、ちょっとアイヌの血も入っているし、ちょっと中国人の血も入っているそうです。本当の日本人に本物の伝統文化を教えたいというのはあります。当然僕は日本人なので、君が代を一生懸命歌います。陛下に対しても尊敬の念を持っています。でもやっぱり血というのはまた違うもので、物理的なもので、遺伝的なものですから、できれば今の若い方、あるいは本当の日本人の方にちゃんとしたものをお伝えしていかなければいけないと、300年後も日本人が日本人であり続けられるようにするというのが僕の使命だと思っています。

これから切るのは畳表です。90センチ×180センチ、これを1枚ロールすると大体人間の胴体1本分になります。それを2枚巻きにしています。なので、人間の胴体2本分になります。一番切れる刀というのは、7つ胴を切り落としても残っております。関兼房という刀です。それは7人重ねたのを切る。罪人の方です。でも実際、4人目からは台に乗って飛び降りるので、大体2～3人切れたら名刀だと言われております。人を切ると刃こぼれするといいますが、刃の立て方や、ハマグリ刃といって竹とか切れるようにちょっと丸くします。これでもあるんですが、基本的に柔らかいところを切ったりすると、1人～2人では刃こぼれはしません。古い刀などはよく、ちょっと研いだあと先っぽから細くなってるやつがあります。だいたい

12～3人切った室町時代の刀がありますが、一騎打ちの刀はいいものです。よくテレビなんかで刃を合わせていますが、できるだけ刃と刃はぶつけないようにします。刃の側面を鎬しのぎと言いますが、「しのぎを削る」ってそこから来ています。ですので側面を当てます。それで私たちが構えるところに金具があって、これは目貫めぬきというものです。「目抜き通り」はここから言います。それでこの刀とこの鞘さやって、一緒なんです。この鞘にはこの刀しか入りません。だから「元のさやに収まる」、「そりが合わない」など日本刀から来た表現はいっぱいあります。ご興味のある方はぜひ村山市の侍体験に来てください。

それから、届け出がなっていない刀が出てきた場合、警察署に言って、「ここで見つかりました」と写真撮ってそこから動かさないでください。なぜかと言うと、登録証は、自動車の車検証と一緒に、それがないと銃刀法違反になります。ですので、事情を警察署に説明して、「見つかったんだけど、登録してない」と言うのと、警察が来ます。逮捕ではなく、「じゃあ登録してください」というようになります。教育委員会の管轄になっております。一応ものは切れるけれど日本の美術品です。運ぶ時は袋に入れて、できれば二重の袋に入れて閉じます。要は武器なので、携帯はダメです。撮影に行きますとか目的があればいいです。でも外に出すと絶対ダメです。すぐ捕まります。以前、目の前の下水道工事がうるさいというので、「うるさいぞ、お前ら」と言って切った人がいましたが、即逮捕でした。歩道とか道路は絶対ダメです。自分の敷地内でもギリギリです。構えたら殺人未遂で一発収監になります。そのくらい大変なことです。

それでは、ここにいらっしゃる皆さまのご多幸をお祈りして、悪運斬り抜刀をさせていただきたいと思えます。

たった今、皆さまの心と体に魂、まとわりついた悪い運、悪い縁、厄、これを御神刀にて断ち切らせていただきました。今日を限りに皆さまの人生が幸せな方向に向かうことを神様が確実にお約束してくださいませ。この切ったものを門松のようにして玄関に飾ると悪いものが来ない、この家にはこんな刃物を使うやつがいるんだなということで来ないと言われております。もしご希望の方がいらっしゃいましたら、2つしかございませんが、ぜひどうぞ。本日は誠にありがとうございました。

| 本日出席 (4 / 3) | 会員総数 | 出席会員数 |
|--------------|------|------------------|
| | 99名 | 66名 (Zoom参加5名含む) |